

略號

急電報

元 次官

信電第九五號

信部隊參謀長(海防)

本日豫定第一船入港船三日十二時三十分迄出帆

準備完了同日中出帆得見込あり

特兵一同感慨無量ニテ各方面ノ衛配慮ニ對シ衷心ヨリ感

謝シアリ

船長ニ連絡セシ結果ニ依テ上陸地ハ浦賀ニテ所要日數ハ

日誌

一	四	五	六
二	三	四	五
三	二	三	四
四	一	二	三
五	〇	一	二
六	〇	一	二
七	〇	一	二
八	〇	一	二
九	〇	一	二
十	〇	一	二

0672

十二日間ナリ

尚第二船以下、海防入港見込左ノ如シ

海防入港六翌日中ニ出帆ニ得ル如ク手配中ナリ

五日二隻 八日一隻 九日二隻

通電先 関係各所

(11/2)

0673



略號

至急電報

宛 次官

信電第三九號

信部隊參謀長(イホ)

近ク南京向ケ通信閉鎖ヲ豫想スルニ當リ復員狀況等
ニ関シ重複ヲ厭ハズ報告ス(四月六日現在)
一 海防港集結狀況

二 輸送總員 三一八五名(軍ニ九八五六、民一三二九)

ニテ朝鮮人、臺灣人及逃亡者ヲ除ク)中海防集結完了人員ニ七九三名、未集結ニ二六二名ナリ

三 未集結人員中ニ四五三名ハ七日中ニ集結完了ノ豫定

殘餘ハ「ハイ」連絡所使用「ハイ」在勤自動車部隊等
一七九名「トーション」通信所ニ三名及「ソラン」ニ於テ徵集
セラレアルヒ名ナリ

0674

(13) ハノイ地区及 トーソン通信所ハ有頃閉鎖シテハイボン

ニ集結ス予定ニテハノイ在勤自動車部隊モ近クハイ

フォンニ兵力集結ノ見込ナリ

又「ト」ラ「セ」名ニ對シテハ現地ニ將夜ヲ派遣ニ直轄各軍

ニ連行スル如ク手配中ナリ

(14) 逃亡者ハ三〇名(外ニ朝鮮人一名、臺灣人一名)ナリ、此等

逃亡者ニテ乗船前ニ歸還セシ者ハ勿論同行歸國セシムル

モ目下逃亡者ニ呼掛從心適シツアリ

二 輸送状況

(1) 第一船(四一八名)ハ三月十六時三十分出帆セリ、上陸地ハ浦

賀ナリ

第二船(三九五名)ハ六月午前入港支障ナク乗船開始

又第三船(三八二名)ハ六月十時頃、第四船ハ七月七時

頃、第五船ハ八月十六時頃夫々、トソン沖到着ノ予

定

0675

尚第六船ハ九日、第七船ハ十三日海防入港ノ予定ニシテ
第八、第九船予定ハ未ダ判明シテアラザルモ中旬中ニハ終
了ノ予定

(2) 独之浪成第三四旅團司令部ハ第八船

第二十師團司令部ハ第七又ハ第八船

軍司令部ハ第九船

居留民ハ第七船

患者ノ主力ハ第七、第八船頃ニ乗船ノ予定

尚病院船ニハ重患者ノミ五五名及一部衛生部員ヲ

乗船セシムル予定

(3) 第二船以降ノ上陸地ハ不明ナリ

三、内地派遣班状況

(1) 第一船ニ依リ先遣班トシテ軍司令部ヨリ四五名(長三

沢大佐) 第二師團司令部ヨリ三四名(長 昨原主計

0676

少佐)、独之浪成第_三如旅團司令部ヨリニ五名(長
龜田少佐)派遣セリ

(2) 支那派遣軍復員本部要員トシテ布袋_ノ討以下
三名ヲ第一船ニ依リ出發セシメタリ

四、當地警備ハ逐次佛軍ニ交代シツツアルモノノ如キモ自下ノ
所軍帰還後ハ佛軍ト完全ニ提携セルモノノ如ク、軍
歸還業務ハ米國及中國側ニ依リ處置セラレツツアリ
乘船業務モ逐次圓滑化スルモノト予想シアリ

五、朝鮮人、臺灣人狀況

(1) 軍人軍屬朝鮮三八(外ニ逃亡ニ)臺灣一三(外ニ逃亡

一)、居留民朝鮮一三六、臺灣三〇ニナリ

(2) 数次ノ折衝ニ拘ルニ朝鮮人、臺灣人ニ對シ中國
側ノ態度不明確ノ爲日本軍輸送開始ト共ニ相
當動搖ノ色アリ

0677

(3) 軍人軍属ハ全員「ハイフオ」ニ集結シアルモ居留民ハ「ハイフオ」ハノイ及カンエ」(ハイフオニ東北ニの料)ニ位置シテ、軍ハ居留民ノ生活ニ對シテモ所要ノ援助ヲ與ハツツアリ

(4) 臺灣人ハ自体ニ於テ小祖船ヲ賃借ノ上ハ別途歸還スルトノ話アリ

朝鮮人ノ輸送ニ関シテハ各種臆説アルモ判明スルニ至ルモ最終ヲ揚時ニ殘留朝鮮人ノ生活保護ニ爲シテ英得ル限リノ援助ヲ與フル如ク手配申サリ

通電先 一復、榮復本、東部西部復監部

浦賀上陸地支局(浦賀榮運路班)

鹿兒島上陸地支局(鹿兒島榮出張所)

0673

略號

至急電報

完次官

支那派遣軍總參謀長(南京)
總參電第火八一號(電註「終」脫落昭會為選延)

復員概況
歸還狀況

軍民歸還(三月入り)活潑化ス即三月中歸還人員塘沽
 五八三二名(軍一三九〇名) 青島四〇六一三名
 (軍二六六三名) 連雲一四五七名(軍五六一三
 民一〇三四) 上海一九五七三六(軍一五二七二民四二九六四)
 華南四〇三八三(軍三〇七四三民九六四〇) 臺灣二五三〇五六
 (軍六八七七八民一四八三七八) 合計六〇三七七名ニシテ三月
 末日迄分ル歸還總人員一〇五〇七一名ナリ

取三
 四、五、八、九
 三、三、四、着
 六、九、三、受
 九、八、八、受
 3

日誌用

0679

臺灣六月八日以降青島第一七船の電報未(連)電詳電未
著三付計上シテ又幸部隊橋樑第百六十一師團等白雲
三師團第十三飛行師團肇第一七獨立軍備隊 南義
支隊各部隊及華南日僑臺灣ニ於テ九軍全部又八師
分歸還終了ス

(2) 集結及集中状況

河南地區 軍民八三月十五日以來上海向移動ノ開始日量
約二〇〇〇ニシテ順調ニ進捗シアリ 長江上流部隊ノ下航ハ三月

二十日下航セルモ後續部隊ナシ

山西地區 四月上旬末ヨリ輸送開始ノ豫定 三月末ニ於ケル各地區

殘人員軍民患者合計ハ平津豫約一〇〇〇〇 青島約一三〇〇

連雲約四〇〇〇 上海約一〇〇〇〇 廣東約六〇〇〇ニシテ

上海如キハ現歸還狀況ヲ以テ七八四月上旬末迄ハ勤務員

外來船之員ナキ現象ヲ呈シ微用人員ト共ニ奧地部隊ノ乘船地
某中ノ復員上最大ノ隘路ナリ

(3) 復員完結狀況

三月中内地歸還後復員完結セル部隊一〇五箇ニシテ復員完

結累計八一九箇ナリ

(4) 復員業務處理狀況

(イ) 歸還輸送ニ本格化ニ伴ヒ各部隊ノ所在不明ナルモノノ歸還

ニ當リ殘置人員等膨大數ニ達シ復員業務ヲ著シク困難

ナラシメアリ 復員部隊ニ屬セル入院殘置人員等復員本部

ヨリ通報ニ基キ爾後ノ處理ノ困難性ニ関シテハ各軍共ニ痛

感セラレアル所ト信ス 本件ニ関シテ屢々通報セルガ如ク

各部隊ハ速カニ掌握者連名簿(終戦以來轉入者悉皆)

所在不明者連名簿 患者ヲ收療セル衛生機關ハ入院

0681

患者「イロハ」名簿寫ヲ復員本部ニ送付スルト共ニ爾後
異動アル毎ミ之ヲ補足シ且入院患者ニ関シテ所在衛生機
關ト連繫其他ヲ密ニシ轉送轉屬ノ現況詳知シ又所要
ニ應ジ與地軍ノ此等人員處理ノ爲整理班ノ派遣等手段
ヲ盡シテ之ガ掌握ニ勉メ人員ヲ完全ニ掌握處理シテ後
歸還スル知ク軍派遣隊ノ強方ナル指導ヲ加ヘシ度
(四) 緊急金融措置令施行ニ伴ヒ内地ノ就職等ニ関シテハ曩ニ
總參電第ニ四號ヲ以テ通報スル如ク復員者ノ就職ノ復員者自
ラ開拓ヲ要スルモノ大ニ各軍ニ於テモ各縣又ハ主要職場ニ
劣者ヲ先遣シ將兵就職幹旋等ニ努メシラシ度 一般ニ
各地共社宅等焼失セルモノ多ク且國內一般ノ住宅難等爲
就職者ハ通勤可能ヲ要件トシテ付就職者ハ復職希望
者ヲ除キ復員先ヨリ選定スル如ク指導ヲ要ス復員本部
ニ於テハ復員後ニ於テ就職幹旋ニ関シテ各上陸地出張所

0682

又、派遣班に於テ十分説明スル如ク指示シテ上陸部隊長
ハ同所ニ付聴取シ上全員ニ徹底セシムル如ク歸還部隊長ニ對シ
豫メ指導シ置カレ度

(5) 統第次下航部隊ハ南京ニ於テ「發疹チブス」發生シ四月
三日迄罹患者四六名(内死亡四名)ニ上レリ傳染病一度
乗船地ニ蔓延スルニ於テハ乗船不可能トナリ全般ノ復員ニ至
大九影細管ヲ及ボスニ付向所ノ折特ニ検査ス

(終)

0683



略號普通電報

信電第ニ一九號 信電第ニ三八號

信集團參謀長

四部
二
三
四
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

日誌用

信電第ニ一九號 附誌

近々通信杜絶ニ當リ今次復員ニ伴フ經理諸施策

ニ關シ懇切ナル御指導ヲ深謝ス以下經理現狀

ニ關シ要旨報告ス

待暇間ノ概況

終戦後中國軍ヲ理解スル善理ニ下資金及衣糧

諸品ノ概ネ所要確保ニ諸給與ハ月昇ニ實施

中國側ヲ補充ス變セシメ資金約六億元(法幣)

精米三四ヶ莖ニシテ乘船時相當ニ返納ニ得ル見込

0684

又此間將兵ハ一意現地自治ニ精勵相當ノ成果
 ヲ擧ゲ得テ關係者ハ累次規定等ノ変更ニ伴ヒ經
 理事務處理ニ精進シ概テ完備ノ状態ニアリ
 一乘船地(海防)集中後ノ狀況
 一規定ニ基キ米津主計少佐以下七八九名
 一陸地ニ決算要員トシテ生田主計少尉ヲ河收等
 一艦ニ依リ先遣ス
 (2) 三月末日各部隊決算ヲ打切貨物撤ニ於テ續行
 ス「=語不明」
 (3) 主副食共何等ノ支障ナシ給與ハ良好
 (4) 將兵返還時ノ裝備ハ概テ規定數ニ充足限定ノ内
 地ノ狀況ニ鑑ミ携帶品種ノ増加ニ努メリ但シ乘船
 地ノ検査ハ嚴重ニシテ隊傷貨物ハ準備數量ヨリ相當
 接收ヲ受ケテリ

0685

日誌用

各部隊經理検査ハ集中地ニ於テ嚴密ニ實施スル
形地ニ集中後統合再點檢等最終検査實施
齊ナリ

軍需品ヲ引継ハ概ネ終了セシモ 程度ノ不良輸送カハ
不足其他事情ニ依リ正式受領証ヲ徴シ得ザルモ相
萬アリ止ム得ザル部隊長ノ責任ニ於テ排ガ整理ヲ軍
報告セシメアリ

證券持歸リニ關シテハ全面的ニ解決セズ 預入額持歸
制限額以内ノモノハ個人携行ヲ認メラルモ超過セルモノ是員
内連名簿ト共ニ港口司令部ニ提ガセリ

將來内地ニ於テ貯金通帳再度發行ノ爲部隊連名
ニシテ没收ニ證明ヲ交付セリ

經理關係書類、内地携行ニ必要最少限ニ制限セラ

ス(裏)

0686

以上各處證明濟證憑書類一切處分

經理部長

通電先

榮復員本部、第一復員者、東部復員班部
西部復員班部、浦賀支局、浦賀榮連路班
鹿兒島支局、鹿兒島榮老張所

終

0687



略號 緊急電報

宛 次官

信電第ニ三七號

信部 隊參謀長(ハイン)

昭和四一
九二
四一
ハ八五
ニ六
受著
貞
4

南京系八九日八時ヲ以テ閉鎖ス

通電先、一復、支、支復、波

終

目誌用

0688